

児童発達支援センターを 卒園して知的障害があつて なぜ大学に行けたのか

東 秀憲

むぎのこ後援会の皆さんにちは。私は、1998年5月6日に札幌市立病院で母が帝王切開を受け超未熟児の692グラムで生まれてきました。現在は東京都のルーテル学院大学で社会福祉を学びながら、アパートを借りて1人暮らしをして大学に通っています。

私は、小さな命として誕生してきましたが、どんな子でも人として成長していくことができると思います。皆さんは生まれたときの「自分をどのように描いたりするでしょうか?」生まれてきてよかつたって思えれば一番の幸福とも受け取れると思います。

私は、3歳児検診のときにかなりの自閉が強いがために「サッポ」という場所の人が児童相談所を紹介してくれたことを母から聞きました。そこで、知的障害と判定されむぎのこに来るところなり現在に至っています。皆さんの子どもと同じで私も「療育手帳」を持っています。

むぎのこ後援会報

2020年
X'mas号

発行人
こ会局
むぎのこ
後事



分かるようになりました。

また、私の母は現在ハーベスト・ガーデンで栄養士として働いているのですが、そこで予どもたちの給食を作つたりする仕事をしています。そんな、むぎのこ児童発達支援センターは私の母のような親から子どもまで障害を治すことや治療することとかの支援ではなく、「子どもとしての良さやありのままの自分でいいということ」を認め合う場所です。私はこのような場所で仲間と過ごし卒園をしました。

小学生、中学生になつてからは普通学級に進みました。私は中学3年生になり受験生になつて進路のことを考えていたときに、北川園長から広島県の広島三育学院高等学校を教えていた

だき受験したのですが失敗しました。そこから1年間浪人生活をしながら、基礎学力を身に付けるために色々な人に勉強を教えてもらひながら、何とか翌年に入学を認めていただきました。私の高校は全寮制とキリスト教の学校だったのですが、勉強と生活のそれぞれに聖書の授業があり、寮生活でも朝と夕方に礼拝の時間がありました。高校2年生になつてからは勉強面での成績が高校1年生のときに比べ上がり始めました。それに伴い、勉強の仕方が少しづつ

高校3年生になつてからは大学受験で現在のルーテル学院大学を受験したのですが1回目を落ちた経験をしました。その後、12月に教会枠推薦で2回目の受験を学長（前学長市川教授）との面接で合格することができました。面接では高校生活よりもむぎのこでやつてきたボラン

ティア活動の内容とむぎのこがどういう場所なのか、大学の体験講義で印象に残った先生のことについてしか聞かれませんでした。そのおかげで9割がむぎのこに関することで合格したようなものです。その後、両親は別居をして、現在の家族構成は私と母と里子2人を合わせて4人家族で生活をしています。

一昨年の4月からルーテル学院大学に入学して、自分の今までの経験から社会福祉の勉強をはじめました。大学の講義、テスト、レポートでは高校時代に勉強のやり方を先生方に教えていただきおかけで大学でもあまり深く困つていません。今は感謝の気持ちでいっぱいです。特に、私は現在、社会福祉士課程の勉強をしていきます。

それから、去年の4月からは東京大学の「障害者のリアルに迫るゼミ」と出会うことができました。きっかけは、北川園長が以前のように

講演をしていたことや本郷キャンパスでゼミナールの運営をやつていた今年の3月に東京大学を卒業した女性の方が、私の地元である札幌に来て出会ったこともあってこのゼミに導いてくれたことです。私は、このゼミの顧問をして下さっている元・毎日新聞論説委員で現在、客員編集委員としてやNPO法人千葉の副理事長を務める野澤和弘さんに出会いました。このゼミは障害を持つている人も障害を持つていない人も関係なくタブーなく語れることを理念にして活動をしています。そして、毎週ゲストの方をお呼びしてお話を伺っています。学生とゲストの方と懇親会で自由」今日のお話で印象に残っていることやその場で話せなかつたことなどを共有して双方向で学びを深めています。現在は東京工業大学、早稲田大学、植草学園大学と東京大学以外でも展開され各大学の学生運営も携わっています。今、一番新しいゼミでは京都の浦安市でもゼミを展開され「浦安ゼミ」と呼ばれる活動をしています。

ゼミ以外にも、毎年夏には厚生労働省の障害福祉課の方々と勉強会をしたりや各福祉施設を見学させていただいています。去年の8月に東京大学のリアルゼミの合宿でもぎのこに来てもらいました。そこで、私たち、むぎのこのグループ「youth」と一緒に中小屋小学校で合宿をしたり、脳性まひを持つていて車いすに乗つて生

活をする東京大学の男子学生と聴覚障害を持った男子学生が、「障害持つている」と自分のステータス「人間性が大事だと教えてもらいました。私も東京にいたときは、厚生労働省や北川園長のシンポジウムをはじめ、議員会館、福祉施設を周らせてもらひうことができ、視野や考えが広がりました。それに伴つて、野澤さんにゼミで「若いうちに人脉を多く持つ」と「自分と同じ理念を持っている仲間を作る」と」「スケールを大きく持つこと」など数多く今でも教えていただいて日々実践中です。ここまでこれで思ふのは、私と眞反対の能力主義を勝ち抜いてきた人も、悩みが皆さんと同じだということです。そのおかげで人間関係が広がつたことに感謝しています。今振り返ると子どもにしたら、自分たちの親は、変な親ばかりだったのですが、力を合わせて、みんなの子どもたちのために頑張つてくれました。私の母もみんなのために食事を作つてくれました。佐々木由紀子さんも、他の子どもの勉強は一生懸命お世話して下さっています。そして、佐々木さんはむぎのこで育つた知的障害の女の子に、美容師の国家資格のため毎日嫌がる子に勉強を教え続けました。その子は美容師として頑張つて働いています。

私は、今でも夏休み、春休みは札幌に戻つてきました。むぎのこでアルバイトをしています。もしかしたら、後援会の皆さんとはじかでお会いし

た方もいるかもしれません。現在は学齢期のクラスで児童発達支援センターの学童パンダで日々活動を子どもたちとしています。いつも子どもたちの笑顔を見るのと一緒に何かしようと誘つてきてくれるのが楽しみです。その素直さに助けられていますし、新たに子どもたちから教えてもらひつけています。障害を持つた子を育てあげることは大変な苦労が伴いますが、苦労している者同士一緒に助け合いましょう。



東くんと3才から友だちの菊地くん（東京にて）

今回は新型コロナウイルスの影響で「オンライン」と、リモートでの入学式が行われました。ZOOMで園長からの言葉をもらいました。例年とは異なる形での入学式でしたが、温かい雰囲気で行わされました。

例年に比べて、クラスごとに「おんまり」とした入園式でしたが、普段の療育に近い雰囲気で行われたので、お母さんも子ども達も少しリラックスした様子でした。



今年は新規コロナウイルス感染症対策として、ソーシャルディスタンスを意識し、短い式にはなりましたが、笑顔あふれる暖かい式を行なう事ができました。



入学式

4月2日木曜日、むぎのこ入園式が行われました。今年は42名の新人園児が入りました。

今回は、感染症対策と言うこともあり、2部制でさらにクラスごとに場所を分けて、小さな入園式になりました。

例年に比べて、クラスごとに「おんまり」とした入園式でしたが、普段の療育に近い雰囲気で行われたので、お母さんも子ども達も少しリラックスした様子でした。



入所式

4月10日に成人部門生活介護事業の入所式が行われました。今年はジャンプレツツに4名、ハーベストガーデンに1名、トリニティに2名の仲間が加わりました。

新入所者の皆さんには入所式が始まる前は緊張感がありましたが、式の中で名前を呼ばれると手を挙げて元気よく返事をすることが出来ていました。

今年は新



今年は新規コロナウイルス感染症対策として、ソーシャルディスタンスを意識し、短い式にはなりましたが、笑顔あふれる暖かい式を行なう事ができました。

ジャンプレツツの畑や太美の畑で畑作業を行っています。

じゃが芋、きゅうり、ズッキー、いんげん、なす、トマトなど色々な野菜を育てました。春は畑の石を取り除いたり、耕すことも職員と一緒に、苗植え、草取り、水やりも協力して行いました。暑い日も熱中症対策を行いながら、頑張りました。秋にはみんなで連日収穫を楽しみました。



畠作業





今年はみかほ整肢園を受託したので、たくさん の職員が勤務してくれました。

所 属：トリニティ
出身校：旭川大学

話し下手でどんぐさい性格な私。それでも、一から丁寧に仕事を教えてくれた先輩がいて、利用者さんの笑顔に助けられ今日までやつてこれました。これからも頑張ります。

社会人になって半年経ちました。基本的な挨拶等が身についてきたと感じます。子ども達との関わりも毎日上司や先輩達から学びながら頑張っています。

所 属：ヨシマ（シーランチ児童発達支援事業）
出身校：藤女子大学

日々新しい発見があり勉強の毎日です。優しく頼もしい先輩方のおかげで、環境にも慣れ仕事にもやりがいを持つて働く事ができてきました。早く一人前になれるよう頑張ります。

所 属：ヨシマ（シーランチ児童発達支援事業）
出身校：札幌医療福祉専門学校

日々、子ども達の変化に感動しながら過ごしています。まだまだ至らない所がありますが、先輩職員のご指導の下、自分のできることは全力で頑張っています。これからも楽しく働いていきたいです。

所 属：ヨシマ（シーランチ児童発達支援事業）
出身校：北星学園大学短期大学部

社会人として半年経ちましたが、未熟な部分が沢山あります。自分が頑張つていけたらと思います。よろしくお願ひします。

所 属：ヨシマ（シーランチ児童発達支援事業）
出身校：北星学園大学短期大学部

4月から入社し、至らない点ばかり、失敗ばかりで皆さんが迷惑や」「心配をおかけしてばかりですが、歩みを止めない努力はしていくつもりです。よろしくお願ひいたします。

所 属：ヨシマ（シーランチ児童発達支援事業）
出身校：北星学園大学短期大学部

麦の子での仕事は大変なこともあります。日々利用していく利用者さんや子ども達、職員の方々のため、できる仕事の幅を広げて支えていきたいです。

所 属：ヨシマ（シーランチ児童発達支援事業）
出身校：北星学園大学短期大学部

むぎのこ出身で、学生時代からむぎのこでアルバイトとして働いて、今年から職員として働く事になりました。社会人は大変だなと思う」とばかりですが、頑張ります。

所 属：ヨシマ（シーランチ児童発達支援事業）
出身校：北星学園大学余市高等学校

4月から入社し、至らない点ばかり、失敗ばかりで皆さんが迷惑や」「心配をおかけしてばかりですが、歩みを止めない努力はしていくつもりです。よろしくお願ひいたします。

「作業療法士」
所 属：トリニティ
出身校：天理大学

クリーリック、センター、野の花を兼務している為、たくさんの方でみなさんにお会いすると思います。日々、学びながらできる」とを一杯頑張ります。

「生活支援員」
所 属：トリニティ、ホワイトハウス
出身校：天理大学

私が日々心がける事は、「人の可能性信じること」です。沢山の個性を持った方が集うこの場所で、職員・利用者さんと共に生きて行く事の可能性を拓げていきたいと思います。

「保育士」
所 属：ヨシマ（シーランチ児童発達支援事業）
出身校：札幌新陽高等学校

前職はホテルマンとして働いておりました。10月より入社し、右も左も分からず事ばかりですが、利用者さんと共に元気に楽しげ日々笑顔を絶やさず頑張ります。

「児童指導員」
所 属：ヨシマ（野の花放課後等デイサービス）
出身校：札幌新陽高等学校

麦の子に入社してすぐは、子どもとの距離を感じていましたが、毎日関わっていく中で、子どもが悩みを話してくれたり、話しかけてくれるようになり、とてもやりがいを感じています。

「指導員・運転」
所 属：ヨシマ（児童デイサービスむぎのこ（放課後等デイサービス）
出身校：札幌商工会議所付属専門学校

入社3か月がたち仕事も少しできるかなと、思い出したら失敗もしあしめ 日々精進しなければいけないと感じます。よろしくお願いします。

[栄養士]
所 属：ハーベストガーデン
出身校：光塩学園女子短期大学

前職は保険や派遣業関係の事務職に携わっていました。少しずつ自分が出来る事を積み重ねながら、精進していきます。よろしくお願いします。

[保育士]
所 属：ライオン（放課後等ティーサービス）
出身校：札幌大谷大学短期大学部

入社してから半年経ち、子どもの行動に対して褒める事で成長を感じる事が出来ました。これからも上司から多くのことを学びながら、子どもの行動を褒めていきたいです。

[児童指導員]
所 属：難聴児支援部長
出身校：北海道教育大学

挨拶がしつかりできる」と、どの事業所でも利用者への関りが統一されていることから、仕事にプライドを持ったプロ集団だと思えます。仲間に入れてもらい光栄です。

[保育士]
所 属：札幌市みかほ整肢園
出身校：札幌大谷短期大学

2月に入社。4月からは重度のお子さんと関わっています。言葉が発せなくても、心と心はつながるんだと感じます。可愛くいとおしいお子さんたちに出会えて良かったです。

[作業療法士]
所 属：札幌市みかほ整肢園
出身校：北海道千歳リハビリテーション学院

中途採用で入社し、人間関係や組織作りへの参入に不安でしたが、職員の皆様の暖かさに何度も助けられています。子どもたちのために出来る事を精一杯取り組みます。

[サービス管理責任者・精神保健福祉士]
所 属：ハーベストガーデン
出身校：専門学校北海道福祉大学校

先輩や同僚に助けてもらいながらの毎日です。仕事をする中で大事にしていることは「ハチドリのひとしづく」の中に出てくる「私は私にできる事をしているだけ」という言葉です。自分が出来る事は多くないですが、少しずつでも前に進めるよう頑張っていきたいです。

[生活支援員]
所 属：ハーベストガーデン
出身校：北星学園余市高等学校

前職は飲食店に勤務していました。縁あって麦の子にお世話になることになりました。最初は不安でいっぱいでしたが、今では自分に合っていると感じています。これから、ここで頑張っていきます。

[栄養士]
所 属：むぎのこ児童発達支援センター
出身校：北海道文教大学

社会人になって半年が経ち、少しずつできることが増えてやりがいを感じられるようになってきたしました。これからも初心を忘れず責任感を持つて仕事をしたいと思います。

[保育士]
所 属：ライラック（児童発達支援事業）
出身校：札幌こども専門学校

入社してから自分が変わった事は、出来て当たり前ではなく、出来た事を一つ一つ褒め認める大切さに気付いたことです。これからも、よろしくお願い致します。

[児童指導員]
所 属：スタディ（放課後等ティーサービス）
出身校：北星学園大学

約半年間、優しい職員の皆さんと可愛い子ども達のおかげで仕事を頑張ることが出来ました。今後も子どもたちの気持ちに寄り添いながら日々色々なことを学んでいければと思います。

[生活支援員]
所 属：ジャンプレッツ、ホワイトハウス
出身校：札幌心療福祉専門学校

5月から入社しました。以前は児童分野で働いていましたが、この縁があり成人のみなさまと関わる事となりました。生涯成長していく力を支えていただけるよう精進していきます。

[生活支援員]
所 属：ジャンプレッツ
出身校：北星学園大学

4月から入社し、新しい環境の中で利用者の方々と向き合うという事がとても楽しく、やりがいを感じています。これからも上司から学べることを吸収し、全力で頑張ります。

[生活支援員]
所 属：ジャンプレッツ
出身校：北海学園大学

入社して約半年が経ち、生活リズムにも慣れてきました。とはいってもまだ手探りで失敗の連続の毎日ですが、コツコツできる事を増やしていく姿勢は忘れないでいたいです。



[生活支援員]
所属…トリー・ティ
出身校…北星学園大学

麦の子で働き始めて半年ほど経ちましたが、日々、新しい刺激を受けています。上司の利用者さんとの接し方を見ながら、利用者さんとのいい関係性を築いていきたいと思います。

[保育士]
所属…ピッピ（放課後等デイサービス）
出身校…八戸学院大学短期大学部

麦の子に入社してから日々子どもと関わっていく上で、仕事へのやりがいや楽しさを感じています。これからも子どもたちにより良い環境を提供できるよう、努力を重ねたいです。

[管理栄養士]
所属…むきのこ保育園
出身校…北海道文教大学人間科学部健康栄養学科

麦の子は思いが詰まっていると思います。子ども達、保護者、家庭、職員、上司から部下へ。その想いを伝えられる仕事がしたいです。

[理学療法士]
所属…札幌市みかほ整肢園・ライオン（重心）
出身校…北海道文教大学人間科学部理学療法学科

前職は病院で勤務していました。学ぶことが多い日ですが、楽しく充実した日々を送らせて頂いています。自分自身の役割を意識し、専門性の高い支援が出来るよう努めます。

[理学療法士]
所属…ライオン（重心）
出身校…日本医療大学

4月に入社し、毎日子どもたちと関わっていく中で、日々楽しさや緊張感を感じています。今後はより理学療法士としての専門性を持ち、多くの子ども達と関わり、麦の子を吸収していくみたいです。

[保育士]
所属…ヨシア（児童発達支援事業）
出身校…北星学園大学社会福祉学部

入社してから半年が経ち、子ども達との関わりを通して学ぶことが多くあり、毎日楽しくやりがいを感じています。理解することを大切に、今後も子どもと関わっていきたいです。

[児童指導員]
所属…スカイブルー（児童発達支援事業・心理相談員）
出身校…札幌学院大学大学院

麦の子会に入社して改めて感じたことは、田と田を合わせて関わる事の大切さです。田を合わせて話すことを心掛けて、子ども達と良い関係を築いていきたいと思います。

[保育士]
所属…ブレイ（放課後等デイサービス）
出身校…経專北海道保育専門学校

最初は2つの施設で働く事に戸惑っていましたが、上司や先輩方が優しく指導してくださいり、すぐに慣れる事が出来ました。子ども達に良い支援が出来るように頑張ります。

[保育士]
所属…ユースタバ（放課後等デイサービス）
出身校…藤女子大学

毎日子ども達と一緒に過ごすことで少しずつ信頼関係を築けていることに喜びを感じています。子ども達の気持ちに寄り添いながら笑顔を忘れずにこれから笑顔で忘れずにこれからも頑張ります。

毎日子ども達と一緒に過ごすことで少しずつ信頼関係を築けていることに喜びを感じています。子ども達の気持ちに寄り添いながら笑顔を忘れずにこれから笑顔で忘れずにこれからも頑張ります。





クリスマス献金の お願い



年末に向かい、何かと慌ただしく過ぎてゆくこの時期、皆様もご多忙のことと存じ上げます。

さて、麦の子会後援会では、1996年春に認可され、施設が建設されたときに社会福祉医療事業団からの借入金3500万円を2016年3月を持ちまして、全額返済する事が出来ました。皆さまの心のこもった温かいご支援にこの場を借りまして改めて、感謝申し上げます。これから後の後援会の役割としましては、子ども達の療育への支援、そして保護者の皆様への学びの場を提供していく役割を担っていくことが総会を持ちまして決議されました。

この献金は、子ども達へのプレゼントや保護者の方のペアレントトレーニングなどの研修のための費用として用いられます。

これまでの皆様への感謝と共に、これからも子どもたちの成長の場としてのむぎのこのために、クリスマス献金にご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。



麦の子会後援会会長
船木 一也





クリスマスケーキを 宅急便でお届け

注文受付期間は10/14~11/25です。



ハッピーショコラ・ブリエ
販売価格:¥4,170円(税込み)
直径約14cm × 高さ約5cm

見て楽しい&食べて幸せ



ハッピーア・ラ・カルト
販売価格:¥4,490円(税込み)
直径約18cm × 高さ約5cm



ハッピーモンブラン
販売価格:¥4,240円(税込み)
直径約15cm × 高さ約6cm

マロンクリームが更に美味しい



ハッピーガトーフロマージュ
販売価格:¥3,750円(税込み)
直径約15cm × 高さ約4cm

カットするとハートに



ハッピーストロベリー
販売価格:¥4,200円(税込み)
直径約15cm × 高さ約4.5cm

7大アレルギン不使用



ハッピー アンジュ・ブラン
販売価格:¥3,470円(税込み)
直径約15cm × 高さ約6.5cm

真っ白な雪のようなケーキ



ハッピーシュトレン
販売価格:¥3,380円(税込み)
重量306g

ご注文者

お名前	お電話(必須)	郵便番号
-----	---------	------

ご住所

お送り先 ①	<input type="checkbox"/> ご注文者と同じ	<input type="checkbox"/> 下記に送る	(請求書は <input type="checkbox"/> ご注文者へ <input type="checkbox"/> お送り先へ)
お名前		お電話(必須)	郵便番号
ご住所			お届け時間指定: <input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 午前中 <input type="checkbox"/> 14~16時 <input type="checkbox"/> 16~18時 <input type="checkbox"/> 18~20時 <input type="checkbox"/> 19~21時
ケーキの種類		金額	円 配達指定日 <input type="checkbox"/> 12/20 <input type="checkbox"/> 12/21 <input type="checkbox"/> 12/22 <input type="checkbox"/> 12/23 <input type="checkbox"/> 12/24
お送り先 ②	<input type="checkbox"/> ご注文者と同じ	<input type="checkbox"/> 下記に送る	(請求書は <input type="checkbox"/> ご注文者へ <input type="checkbox"/> お送り先へ)
お名前		お電話(必須)	郵便番号
ご住所			お届け時間指定: <input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 午前中 <input type="checkbox"/> 14~16時 <input type="checkbox"/> 16~18時 <input type="checkbox"/> 18~20時 <input type="checkbox"/> 19~21時
ケーキの種類		金額	円 配達指定日 <input type="checkbox"/> 12/20 <input type="checkbox"/> 12/21 <input type="checkbox"/> 12/22 <input type="checkbox"/> 12/23 <input type="checkbox"/> 12/24

ご支援感謝します

〈会費をいただいた方々 (4月上旬～10月中旬)〉 (五十音順・敬称略)

秋田 愛夕美	浅野 理史	荒井 信太郎	有吉 絵	井岩 大	子花里子
池谷 美佳代	今田 淳子	医療法人社団健心会桑園病院	吉田 輝明	梨知敏裕	穂子輝子
上窪 雅代	遠藤 鏡子	追出町由美子	大路佑子	大落鎌國	智江探子
岡淵里美	尾北俊	長内直子	輔明穂子	えり大	えり大
小幡惠美	鏡ひろ子	木田美佳子	木村瑞京	えり大	えり大
島上奈里香	川尻栄子	後藤三津江	小佐佑介	えり大	えり大
阪口卓哉	坂知枝	佐々木由紀子	新田留美子	えり大	えり大
佐藤美香子	志智多美子	小藏恵美子	田中悠美子	えり大	えり大
鈴木光弥	木由美子	高崎久美子	守和子	えり大	えり大
月寒教会 狩野廣	津布久和	津布久崇	由知裕子	えり大	えり大
寺島浩子	富森美久	内藤さち子	井口智裕子	えり大	えり大
長袴田絵実子	野久雄樹	丹羽由美子	谷瀬由美子	えり大	えり大
堀田肇	萩尾良治	萩弘松	深南千映子	えり大	えり大
埴木愛香	古田秀志	松山理知	山之内恵	えり大	えり大
山口由美子	下山文志	吉田啓	吉田	えり大	えり大
横山幸留	吉田かおり				

〈建築募金をいただいた方々 (4月上旬～10月中旬)〉 (五十音順・敬称略)

小林邦彦 斎藤隆典 萩尾雄樹・由子

〈保育園募金をいただいた方々 (4月上旬～10月中旬)〉 (五十音順・敬称略)

萩尾雄樹・由子

○ 社会福祉法人 麦の子会後援会への募金の振込みはこちらにお願いします ○

ゆうちょ銀行 02700-2-6841 / 他金融機関からの振込口座番号 279店 当座 0006841

ひきこもり事務長

ぼくの心は2つある

ひきこもりつつもひきこもらず、現実逃避と現実直視とを行きつ戻りつ20年。サクセストーリーでも克服ストーリーでもない。色々な人たちが色々な角度から支えあい、一緒に生きた記録です。

木村 瑞穂 編

中西出版

定価 本体1,200円+税



発むぎのこ本がきました！

子育ての村ができた！
発達支援、家族支援、共に生きるために
向き合って、寄り添って、むぎのこ37年の軌跡

障害や困り感のある子どもと家族をどう支えるのか、むぎのこ式子育て支援の実践からこれまでの福祉を考える。北川園長・小野善郎さんがまとめた総勢27名の執筆陣によるむぎのこ式子育て支援37年実践とこれからがぎゅっとつまつた一冊です！

北川聰子・小野善郎 (共編)
福村出版
定価：本体1,800円+税

子育ての村ができた！
発達支援、家族支援、共に生きるために
北川聰子・小野善郎
あさひ出版社
すべての子どもは命を輝かせる権利を持つ大切な社会のみんなの宝です。
むぎのこ式子育て支援からこれまでの実績を学ぶ。
新しい子育ての本は、這一世代へ、伝えて言及してほしい。
よいところを読み合って、自由に伸び伸び、オープンな気持ちいいやさしい
希望の心を育む本です。

むぎのこ今後の予定

2020年

11月6日(金)	親子発達支援(じひと)
11月13日(金)	生活発表会・練習
11月14日(土)	パパの会
11月20日(金)	避難訓練
12月4日(金)	親子発達支援(パンダ)
12月5日(土)	パパ活会
12月11日(金)	親子発達支援(大通)
12月12日(土)	学習発表会・パパ活会・父母会忘年会
12月18日(金)	避難訓練
12月19日(土)	親子発達支援(れいわ)
12月24日(木)	パパ活会
12月25日(金)	クリスマス会
12月28日(月)	年末年始休暇
2021年1月4日(月)	Ⅲ期始業式
1月7日(木)	お正月会
1月8日(金)	親子発達支援(ヨシマ)
1月15日(金)	避難訓練
1月22日(金)	親子発達支援(シーランチ)
1月30日(土)	パパの会
2月3日(水)	豆まさき
2月5日(金)	親子発達支援(りす)

むぎのこ今後の予定

2020年

2月12日(金)	親子発達支援(スタディ)
2月13日(土)	パパ活会
2月19日(金)	避難訓練
2月26日(金)	親子発達支援(ハイラック)
2月27日(土)	パパ活会
3月3日(水)	ひなまつり
3月5日(金)	親子発達支援(ライオン)
3月13日(土)	パパ活会
3月15日(月)	在園児オリエンテーション
3月16日(火)	卒園感謝会
3月18日(木)	新入園児オリエンテーション
3月19日(金)	避難訓練
3月20日(土)	卒園式
3月26日(金)	Ⅲ期修了式・クラス発表

発達に心配がある子と親に寄り添う「麦の子会」総合施設長

きたがわ さとこ 智子さん(59)



「親の心の安定が、子どもの安定成長につながる。私たちがそれをどう支えるかです」。自閉症や知的障害など発達に心配のある子どもたちを札幌市で支援して37年。親にも寄り添ってきた。自身が虐待を受けて育つたり、育てにくさから子どもに手を上げたり、困っている親は少なくない。そんな親を支えるため、カワスにぐるりつけられていたと聞いた。育つ環境の大切さと追い詰められた親の実情に気づかされた。卒業と共に障害児通園施設を開き、13年後に社会福祉法人「麦の子会」に。デイサービス、ショートステイ、成人後の生活支援など事業を広げてきた。今かかる子どもは約610人。職員は約560人で、3分の1は支援される側から支える側に回った母親だ。

「必要に迫られてやってきただけ」と笑う。「子どもの『困り感』を安心感に変えたい。みんなが生まれてきて良かったと思える日々を、この世は生きるに値すると思える社会をつくっていきたい」 文太久保真紀 寄稿・白吉健吾

編集後記

北川聰子総合施設長が2020年10月30日朝日新聞全国版「ひと」欄に掲載されました。

北海道は、「ひと」に寒さがましましてきました。今だから、一面は大学生になった卒園児のお話、入園・入学式や成人の活動の様子をお伝えしました。また、クリスマス献金のお願いやクリスマスケーキの「J案内」もあります。みなさん、ご協力お願いいたします。